

* 目 次 *

はじめに	巻頭
本書の使い方	1
目 次	2
第1部 「評価」とは何か？ ～NPOが評価に取り組む意義～	4
1. 評価に「自ら」取り組むことで得られること	4
2. 評価に取り組むとは、何をすることか	4
3. 評価も「やって終わり」ではなく、「次に活かして」いきましょう！	6
《もう少し深めたい人は・・・》	
4. 評価は「事実特定+価値判断」	6
5. 誰の視点で「指標」をつくるか？	6
6. 組織評価（組織診断）と事業評価	7
7. 総会の機会を評価への取り組みとしよう！	7
第2部 「社会的インパクト評価」とは何か？	8
1. 「社会的インパクト評価」への注目の背景	8
2. 「社会的インパクト」とは	8
3. 「社会的インパクト評価」とは	9
4. 「社会的インパクト評価」の目的と活用方法	9
第3部 「社会的インパクト評価」の進め方（基本編）	10
1. 「評価の計画」段階で行うこと	10
（1）内部評価と外部評価	12
（2）経験則や暗黙知から指標をつくる	12
（3）評価の設計／評価計画の策定のポイント	13
2. 「評価の実行」段階で行うこと	13
3. 「ロジックモデル」とは何か	14
4. ロジックモデルの作り方	15
（1）ロジックモデル作成の前に話し合っておきたいこと	16
（2）ロジックモデル作成の基本的なステップ	16
5. ロジックモデルによる事業や活動の確認	18
（1）指標の設定	18
（2）指標に基づくデータ収集・分析	18
（3）データの収集方法とデータの種類	19
6. 評価の報告と次に向けての改善 ～「誰に」「何を」「どんな方法で」報告・活用するか～	20
7. 評価報告書の作り方、基本構成	21